

2011年10月

● ます、必要な知識

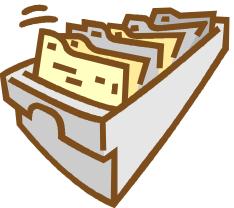
秋は運動会や学園祭など盛りだくさんの行事が控えています。またの登場はデジタルカメラ。撮影の後はパソコンですっきり管理しましょ。

● その他の管理方法

■ 写真を共有する

パソコン内の写真を、家族や友人に見せてもらいたい方法としてまず思い立つことは「メールで送る」という方法です。以前は主流でしたが、メールで送るには大きさや枚数など制約もあります。インターネット上に写真を保存しておき、それを見てもらう方法が一般的な方法であります。（整理されていない押し入れの中で一足の靴下を探すようなもの）

それらは1つ毎に「ファイル」という単位で保存されます。また、それをまとめておくものが「フォルダ」というファイルの入れ物です。このファイルとフォルダの関係をしっかりと頭に入れたうえで作業に取り掛かりましょう。（指定せずに写真を保存すると、ほとんどの場合は「ピクチャ（マイピクチャ）」「オルダ」に保存されます。）



● 必要なソフトは？

デジタルカメラからの取り込みは、使う

「Windows」パソコンでは単純な操作で取り込みが行える「画像とビデオの取り込み」。ウィザードを使用すればよいでしょう。専用ソフトがなくとも標準のファイル管理機能で十分管理できます。

Macであれば付属の「iPhoto」を利用するとよいでしょう。（「iPhoto」では保存されたファイルの保存場所が一覧ではわからなりようになっています。）

Windowsでは通常のファイル管理で行いますし、MacではiPhotoが付属していませんので、特に専用の管理ソフトは不要ということがあります。専用のiPhotoはある程度の編集や管理機能が充実していますが、WindowsのMacのiPhoto付属の管理ではそうではありません。力もいいでしょう。

次月号はデジカメとともに一つのメディア「ピクチャ」についてを予定しています。

●☆はじめて見た次回！★●

管理ソフトではGoogle提供の「Picasa」は、パソコン内の写真を自動選択をまとめて写真合成するなど、多彩な写真機能を備えています。また、Googleカウントを持ついると、専用の写真アースペースにアップロードする機能も備えます。MSNのインターネットサービス「SkyDrive」は50GBまで容量を使えるので便利です。利用は各無料です。

デジタルカメラでは、フィルムの写真と違い、枚数を気にすることなく撮ることになりますが、上手に管理し、うまく利用してみ売までみ売までいるかがでしようか。

